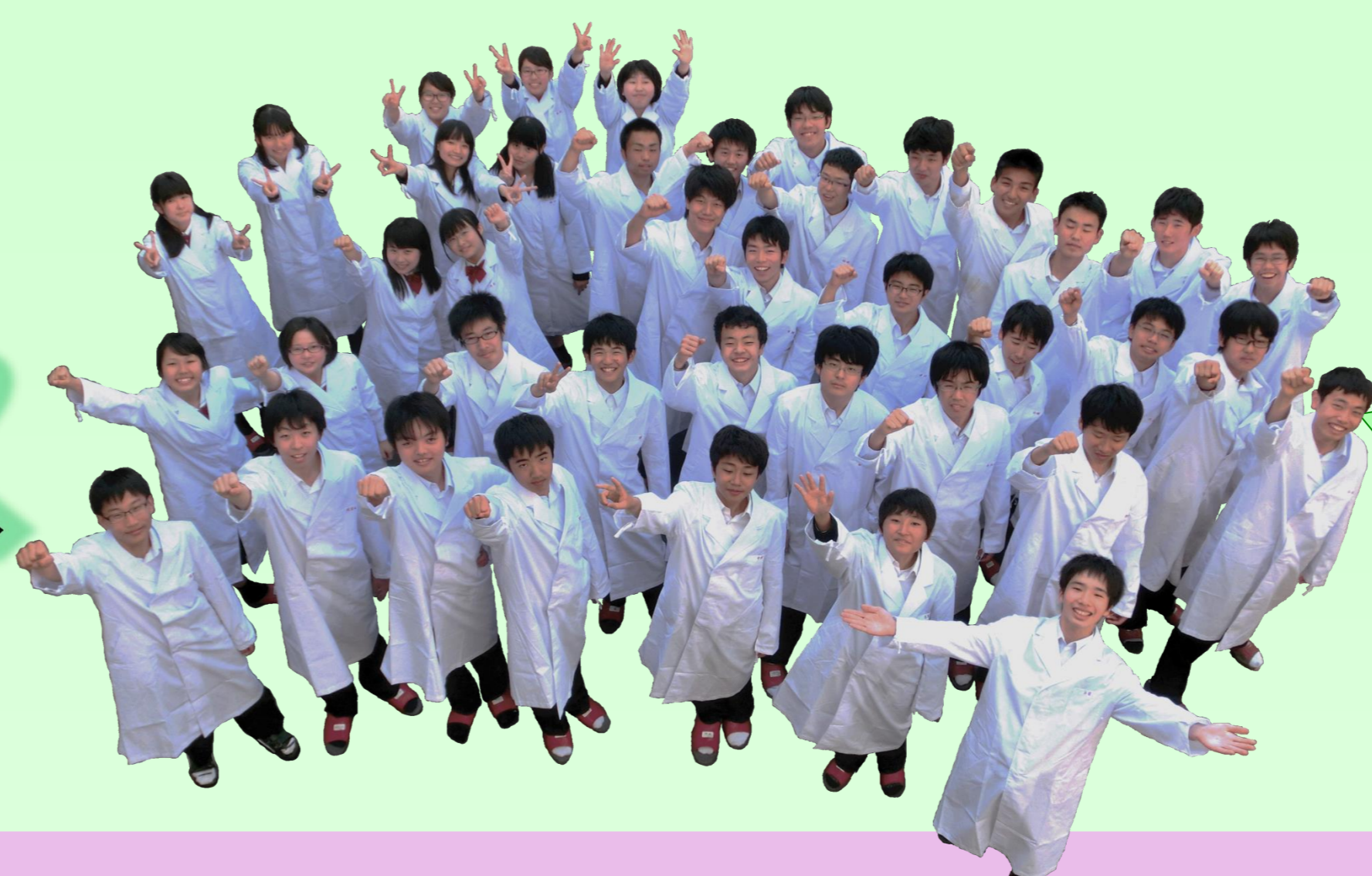




6月号は、
表面だけです。



1年生創生研究 SSH運営指導委員参観指導



< 1年生研究テーマ一覧(仮) > 今後、研究の進行に伴いテーマも修正されていきます。

物理	3テーマ	圧力変化による電気抵抗の変化
		音波を用いた冷却器の製作
		【天文】トランジット法とドップラー偏移法を用いた食連星の観測
化学	1テーマ	濃淡電池を応用して、生体電池をつくる
生物	3テーマ	酵母菌のつくるアルコールの影響について
		多様な植物から100%乳酸菌を採取し、人体に及ぼす効果を調べる
		プラナリアの粘液の防御作用
数学	2テーマ	人の免疫システムを元にしたアンチウィルスソフトウェアの開発
		手の動きをシミュレートする

6月11日(木)、本年度の第1回SSH運営指導委員会が開催され、課題研究やSSHの取り組みについて、協議が行われました。また、6~7校時にかけて、1年生の創生研究を参観指導していただきました。1年のこの段階での研究活動開始は、新設の取り組みでもあり、研究テーマのあり方や研究の進め方などに厳しいご指導もいただきましたが、「1年生のこの次期にテーマについて具体的な議論ができているのは素晴らしい。」とのご意見もいただきました。

現在、9つの研究テーマが、今後の研究内容の検討を視野に研究を開始しています。

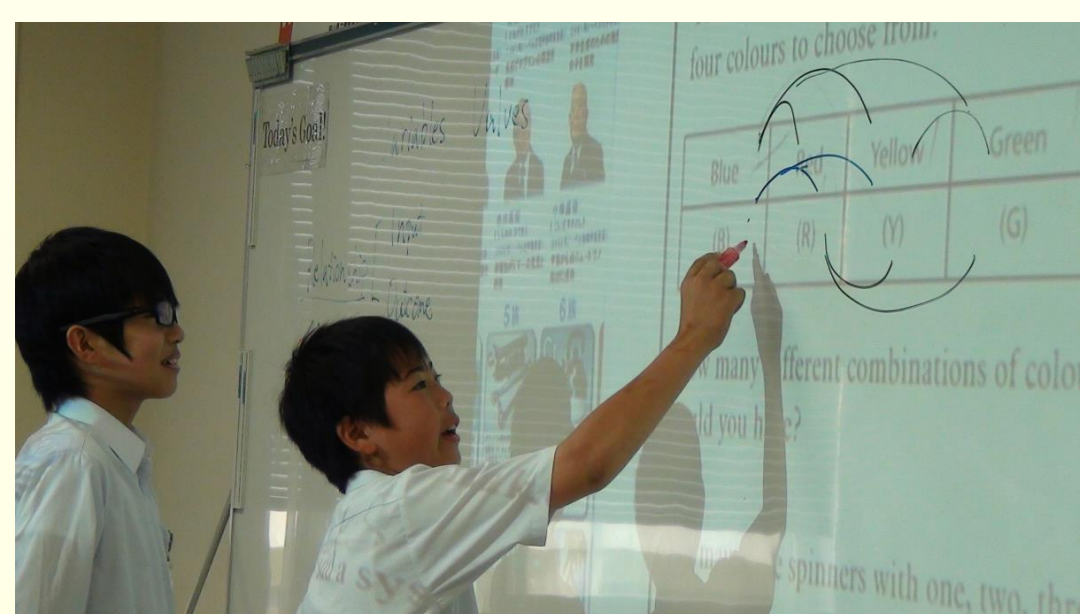


天城中学 中1年生 サイエンスコミュニケーター養成 サイエンス インタープリター 研修

6月10日(水)1年生がクラス毎に分かれてサイエンスインタープリター研修パート1を行いました。今年度は、パート1は川崎医科大学現代医学教育博物館で研修を行いました。博物館の展示物やその展示物の説明をしてくださるプロのインタープリターに実際にあたって、自分たちの目指すゴールを確認することが目的でした。現代医学博物館副館長の森谷卓也先生から、博物館の概要をお話していただき、つづいて3つのチームに分かれて、インタープリターの方からポスターの作り方の特徴や展示の工夫点、作り方などのお話を聞きました。また、そのお話をしている姿もよく観察をし、相手に分かりやすく伝えるためにどんな方法で話しているかなどを学びました。博物館の展示物は、興味や関心が高まる工夫がふんだんになされていて、ついつい楽しんでしまう場面もありましたが、本題を忘れないように一生懸命質問したり、メモしたりしていました。



プレゼン実習
(インタープリターとは一般的には「解説者」の意味です)



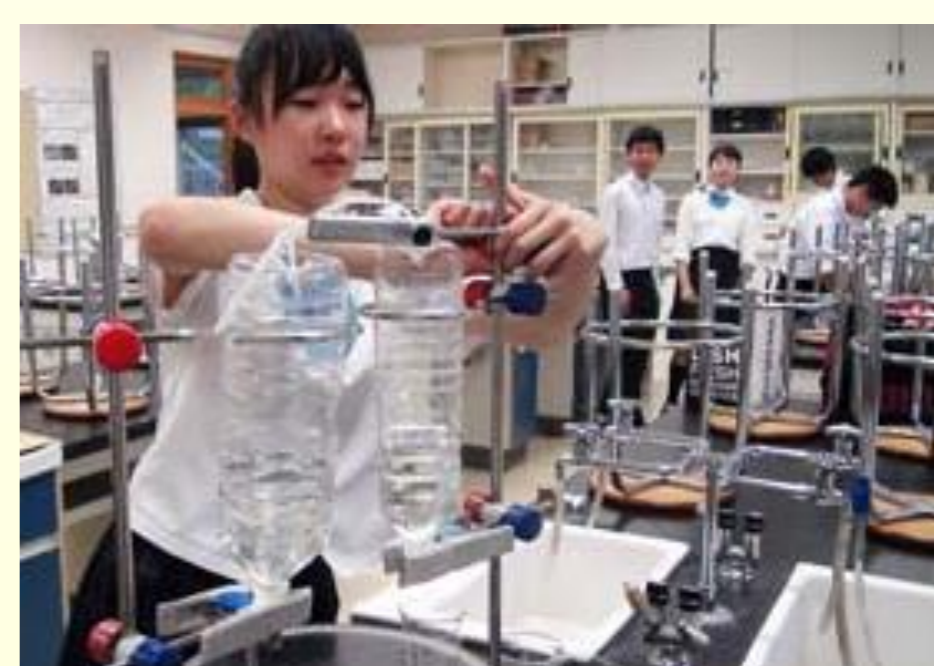
←中学2年生、CASEプログラムの一場面

中2年生

2年生は、CASEプログラム(Multiple choices/Combinations)の学習を行いました。課題研究では、変数に注目することが大切ですが、沢山の変数を一度にあつかうのではなく、公正な実験を行うには、1つの変数だけを変えることが大切であることを学習しました。

中3年生

3年生課題研究は放課後、サイエンス館を中心に取り組んでいます。まだまだ予備実験の段階で、本当に少しの進歩です。しかし、確実にゴールに向かって踏み出し始めています……?



←中学3年生、課題研究の一場面：ペットボトルから落下する水滴の振動の実験